

2022 年 4 月入学
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
博士前期課程学生募集要項

【一般選抜・社会人特別選抜】

2021 年 5 月

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

2022 年度大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 博士前期課程 学生募集要項

2022 年度大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程の入学者を次のとおり募集します。選抜方法は、「一般選抜」と「社会人特別選抜」を実施します。

1. 募集人員

保健学専攻 81 名（保健師教育コース 8 名、助産師教育コース 8 名（女子のみ）、遺伝カウンセリングコース、ナースプラクティショナー教育プログラム若干名及び社会人特別選抜による若干名を含みます。）

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、又は次の各号のいずれかについて 2022 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- (1) 大学又は専門職大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定する者に限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- (10) 大学又は専門職大学に 3 年以上在学した者であって、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められたもの
- (11) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められたもの
- (12) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同

等以上の学力があると認められた者で2022年3月31日までに22歳に達する者

【注意事項】

- 注1) 出願資格(9)、(10)、(11)、(12)により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査(「3. 個別の出願資格審査」参照)を行い、合格者のみが出願できます。
- 注2) 社会人特別選抜を志願することができる者は、上記出願資格のいずれかに該当する者で、2022年4月時点で、医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において、5年以上の実務経験(通算可)を有するものとします。
- 注3) 社会人特別選抜による入学者についても一般選抜の入学者と同一の授業時間割となります。社会人特別選抜については、指導を希望する教員によく相談の上、出願してください。
- 注4) 保健師免許を有する者(2022年3月31日までに取得見込みの者を含む。)は、保健師教育コースを志願することはできません。また、助産師免許を有する者(2022年3月31日までに取得見込みの者を含む。)は、助産師教育コースを志願することはできません。
- 注5) 保健師教育コース、助産師教育コース、遺伝カウンセリングコース及びナースプラクティショナー教育プログラムの2つ以上を志願することはできません。
- 注6) 保健師教育コース、助産師教育コース及び遺伝カウンセリングコースでは社会人特別入試は実施しません。
- 注7) 遺伝カウンセリングコースは、専門看護師(遺伝看護)の教育課程ではありません。

3. 個別の出願資格審査

「2. 出願資格」の(9)、(10)、(11)、(12)により出願を希望する者は、個別の出願資格審査を行いますので、所定の期日までに下記書類を医学系研究科保健学事務室教務係(以下、「教務係」という)へ持参又は郵送してください。

受付期間:

持参の場合 2021年6月9日(水)午前9時~2021年6月16日(水)午後3時(期限厳守)
土日祝及び臨時休業日を除き、各日、午前9時~同11時、午後1時~同3時

郵送の場合 2021年6月9日(水)~2021年6月16日(水)の消印(日本国内に限る)のあるものに限り受理します。必ず「簡易書留」郵便で封筒の表に「前期課程出願資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。

宛先 : 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番7号
大阪大学大学院医学系研究科保健学事務室教務係

(出願資格審査申請書類)

- 1) 出願資格審査申請書(本研究科所定の用紙)
- 2) 最終学歴にあたる学校の卒業・修了(見込み)又は退学(予定)証明書及び成績証明書(専攻科は除く。)
- 3) 在職期間証明書(所属長による証明、様式任意)
- 4) 次ページIの(オ)に該当する学校を最終学歴とする者は、当該学校の入学資格、卒業又は修了に必要な修業年数・単位(時間)数を記載した書類
- 5) 返信用封筒(封筒(長形3号)に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し404円分の切手を貼付)
- 6) 戸籍抄本(卒業証明書・成績証明書等記載氏名との確認のため、結婚等で在学時と姓が異なる方は提出してください。)

注1) 個別の出願資格審査申請書の実務経験欄に記載したすべての経歴について、在職期間証

明書を提出してください。

注2) 書類提出後、必要に応じ個別に書類の追加提出を求める場合があります。

注3) 資格審査書類に不備がある場合は、原則として受理しません。また、資格審査書類提出後は原則として記載事項の変更は認めません。

※出願資格審査の結果は、本人に書面（簡易書留）で通知します。

2021年7月14日（水）までに審査結果が届かない場合は、医学系研究科保健学事務室教務係（i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp）まで問い合わせてください。問い合わせがない場合は受け取ったものとして取扱います。

記

大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の個別の出願資格審査

I 審査対象者の基準

次の左欄の学校の卒業、修了又は退学者で、右欄の期間の実務経験を有する者（見込も含む）とする。

最終学歴	実務経験等の期間（※）
(ア) 修業年限2年の短期大学の卒業生	2年以上
(イ) 修業年限3年の短期大学の卒業生	1年以上
(ウ) 高等専門学校の卒業生	2年以上
(エ) 修業年限が2年以上の専修学校の専門課程の卒業生	大学卒業までの最短修業年数（16年）から専門課程を置く専修学校の修了までの最短修業年限を控除した期間以上
(オ) 外国の大学の日本校、外国人学校、専修学校（専門課程を除く）、各種学校その他国内外の教育施設の卒業生又は修了者	大学卒業までの最短修業年数（16年）から最終学校卒業又は修了までの最短修業年数（入学資格を同一とする学校を複数卒業又は修了している場合は、修業年限の最長のもののみ採用）を控除した期間以上
(カ) 上記の（ア）から（オ）までに掲げる学校の退学者	大学卒業までの最短修業年数（16年）から、当該退学した学校の退学時までの修業年数を控除した期間以上。ただし、退学時までの標準履修単位（時間）数を修得していない場合は、修得単位（時間）数の相当年数を以って修業した年数とします。

(※) 実務経験等の期間とは、次の期間を合算したものをいいます。

- (1) 大学又は短期大学において、研究生として在学した期間
- (2) 短期大学及び高等専門学校に置かれた専攻科等に在学した期間
- (3) 大学・短期大学、官公庁、研究所、会社等の教育又は研究開発部門に教育職又は研究職として研究に従事した期間
- (4) 病院等における臨床実務に従事した期間
- (5) 前各号に定める以外の期間については、当該期間毎に審査し、それぞれに一定の換算率を乗じて得た期間

II 評価の基準

最終学歴、成績、実務経験の内容等を総合的に勘案して行います。

4. 願書受理期間及び提出書類

次に示す「出願に要する書類」等を一括取り揃えのうえ、所定の期日までに教務係へ持参又は郵送してください。

受付期間：

持参の場合 2021年7月16日（金）9時～2021年7月21日（水）午後5時（期限厳守）
土日祝及び臨時休業日を除き、各日、午前9時～同11時、午後1時～同5時

郵送の場合 2021年7月16日（金）～2021年7月23日（金）の消印（日本国内に限る）のあるものに限り受理します。必ず「簡易書留」郵便としてください。

宛先：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-7
大阪大学大学院医学系研究科保健学事務室教務係

なお、出願前に指導を希望する教員（志望する研究領域すべて）と必ず連絡をとり、入学後の研究・教育について面談しておいてください（別表：指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧を参照）。

出願に要する書類等一覧表

書 類	内 容
1. 入 学 願 書	本研究科所定の用紙
2. 志 望 理 由 書	本研究科所定の用紙
3. 受 験 票 ・ 写 真 票	本研究科所定の用紙 ※上半身脱帽正面向きで3か月以内に単身撮影したものを所定欄に貼付してください。
4. 成 績 証 明 書	ア. 出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの。 ※ ただし、偽造防止用紙による証明は厳封を要しません。 ※ 本学医学部保健学科卒業（見込）者は不要です。 ※ 編入学した者は、編入前の学校の成績証明書も提出してください。 イ. 「2. 出願資格」の1)以外の者については、それぞれの出願資格に応じた学校の成績証明書 ウ. 大学改革支援・学位授与機構からの学士の学位を授与された者は、学位授与に係る全成績（単位修得）証明書 エ. 「2. 出願資格」(9)、(10)、(11)、(12)の者は、提出不要です。
5. 卒 業（見 込）証 明 書 等	ア. 出身大学（学部）長が作成したもの。 ※本学医学部保健学科卒業（見込）者は不要です。 イ. 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者は、学位授与申請書受理証明書 ウ. 「2. 出願資格」(9)、(10)、(11)、(12)の者は、提出不要です。
6. 学 位 授 与 証 明 書	大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。
7. 教育職員免許法による養護教諭の専修又は1種免許状（写）	「2. 出願資格」の(8)において、左の免許状所有をもって出願資格ありと認められる者

8. 検定料納入証明書	<p>検定料振込依頼書により、検定料 30,000 円を銀行振込（ATM 不可）にて納入し、検定料納入証明書を所定用紙に貼付してください。 なお振込手数料は各自で負担してください。 ※国費外国人留学生の検定料の取扱いについては、教務係へ問い合わせてください。 ※大阪大学ホームページに記載している災害により被災した志願者に対し、検定料免除の特別措置を講じます。 (https://www.osaka-u.ac.jp/ja/admissions/information) 詳しくは上述ホームページを確認してください。この場合の出願については本要項に記載の問い合わせ先に問い合わせてください。 納入済の検定料は返還しません。ただし、次の場合により検定料を振り込まれた場合は、検定料を返還します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①出願したが受験資格がなかった場合 ②出願書類受付期間後に出願書類が到着し受理されなかった場合 ③出願書類に不備があり受理されなかった場合 ④検定料を払い込んだが出願しなかった場合 ⑤検定料を誤って二重に振り込んだ場合 <p>返還請求については、下記へ申し出てください。 大阪大学大学院医学系研究科保健学事務室教務係 (i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp)</p>
9. 送 票	<p>本研究科所定の用紙 ※住所を変更した場合は、早急に教務係に連絡してください。</p>
10. 受験票送付用封筒	<p>封筒（長形 3 号）に入学志願者の氏名、住所及び郵便番号を記載し、404 円分の切手を貼付してください。</p>
11. 住民票の写し	<p>外国人の志願者は、市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」を提出してください。 外国人登録証明書（カード）・在留カードではありません。 ※出願者以外の世帯員については、証明不要です。 （注）法務大臣が日本での永住を認めた者については、提出する必要はありません。</p>
12. 戸籍抄本	<p>結婚等で現在の姓が各証明書類と異なる方は提出してください。（卒業証明書・成績証明書等記載氏名との確認のため） ※本学卒業者であっても該当する場合は提出が必要です。 ※「2. 出願資格」(9)、(10)、(11)、(12) の者は、提出不要です。</p>

社会人特別選抜の志願者は、前記に併せて次の書類を提出してください。

13. 在職期間証明書	<p>実務経験等を 5 年以上有することの所属長による証明（様式任意） 実務経験欄に記載したすべての経歴について、在職の期間がわかる証明書を提出してください。 ※「2. 出願資格」(9)、(10)、(11)、(12) の者は、提出不要です。</p>
14. 学術活動調書	<p>当該分野における学術活動（学術論文・研究発表等）を記載した書面（題名、研究会等の名称、場所、年月）を提出してください。 (A4 判、様式任意) ※学術活動がない方も、活動がない旨の書類を提出してください。 (A4 判、様式任意)</p>

保健師教育コース・助産師教育コース・ナースプラクティショナー教育プログラムの志願者は、前記に併せて次の書類を提出してください。

15. 看護師免許の写し	看護師免許を有する方は、看護師免許証（写）を提出してください。看護師免許取得見込の方は入学手続き時以降に提出していただきます。詳細については保健学専攻ホームページの入学手続き案内ページ（1月上旬公開予定）にてご案内いたします。
--------------	---

※出願に際しての注意事項

- 1) 出願書類に不備がある場合は、原則として受理しません。また、出願後は原則として記載事項の変更は認めません。
- 2) 受理した出願書類は、理由のいかんにかかわらず一切返還しません。
- 3) 障がい等のある方で、受験及び修学に際して特別な配慮を希望する者は、出願前に教務係に相談してください。
- 4) 入学願書の履歴、入学資格等につき虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

5. 志望研究領域の選定

志願者は、別表「指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧」に示す研究領域の内、第1志望から第3志望まで入学願書に記入することができます。

なお、統合保健看護科学研究プログラムは、他の学位プログラムを第2・第3志望とすることは認められません。遺伝カウンセリングコースを希望する場合にも、統合保健看護科学研究プログラムと医療検査技術科学研究プログラムの学位プログラムを超えての志望研究領域の希望は認められません。

医療画像技術科学研究プログラムと医療検査技術科学研究プログラムと学位プログラムを超えての第2・第3志望は認められます。

保健師教育コース・助産師教育コースを希望する場合は、別表「指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧」に示す研究領域を第4志望まで記入してください。また、保健師又は助産師教育コースへの入学が許可されない場合であっても、統合保健看護科学研究プログラムへの入学意思がある場合は、第5志望に記入してください。

ナースプラクティショナー教育プログラムを希望する場合は、別表「指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧」に示す研究領域を第3志望まで記入することができます。また、ナースプラクティショナー教育プログラムへの入学が許可されない場合であっても、統合保健看護科学研究プログラムへの入学意思がある場合は、第4志望は空欄とし、第5志望に記入してください。

6. 試験日程・試験場所

試験日	時間	試験内容	場所
2021年8月27日（金）	9:30～11:30	学力検査	大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 吹田市山田丘 1-7
	13:00～18:00	面接	

7. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査及び面接の結果、並びに成績証明書等の内容を総合して行います。

＜保健師教育コース・助産師教育コース入学者の選抜について＞

統合保健看護科学研究プログラムの合格基準を満たしている者のうち、保健師教育コース・助産師教育コース志願者が募集人員の8名を超えた場合は、それぞれの上位8名を保健師教育コース・

助産師教育コースの合格者とします。

第1志望の研究領域については保健師教育コース・助産師教育コース合格者のうちから成績上位順に各研究領域の受入れ可能数を充たすまで合格者とします。

第1志望の研究領域で合格者とならなかった者の第2志望の研究領域については、受入れ可能数が充たされていない研究領域に限り、成績上位順にそれぞれの研究領域の受入れ可能数を充たすまで合格者とします。

以下同様に第4志望まで選抜を行います。

上記の者で、保健師教育コース・助産師教育コースの合格者とならず、第5志望の領域（統合保健看護科学研究プログラム）を記入している場合は、統合保健看護科学研究プログラムの合格者とします。

※保健師教育コース及び助産師教育コースの合格者でも、入学時に看護師免許を有していない者は、保健師教育コース・助産師教育コースに入学することはできません。ただし、統合保健看護科学研究プログラムに入学することは可能です。

＜遺伝カウンセリングコース入学者の選抜について＞

統合保健看護科学研究プログラム又は医療検査技術科学研究プログラムの合格基準を満たしている者のうち、遺伝カウンセリングコースを志望する合格者から、成績上位順にそれぞれの研究領域の受入れ可能数を充たすまで合格者とします。第1志望の研究領域が既に受入れ可能数を充たしており、かつ、第2志望の研究領域が受入れ可能数を充たしていない場合は、第2志望で合格となります。上記の者で、遺伝カウンセリングコースの合格者とならず、第3志望の領域（統合保健看護科学研究プログラム又は医療検査技術科学研究プログラム）を記入している場合は、統合保健看護科学研究プログラム又は医療検査技術科学研究プログラムの合格者とします。

＜ナースプラクティショナー教育プログラム入学者の選抜について＞

成績上位順にそれぞれの研究領域の受入れ可能数を充たすまで合格者とします。第1志望の研究領域が既に受入れ可能数を充たしており、かつ、第2志望の研究領域が受入れ可能数を充たしていない場合は、第2志望で合格となります。以下同様に第3志望まで選抜を行います。統合保健看護科学研究プログラムの合格基準を満たしている者で、ナースプラクティショナー教育プログラムの合格者とならず、第5志望の領域（統合保健看護科学研究プログラム）を記入している場合は、統合保健看護科学研究プログラムの合格者とします。

(1) 一般選抜

1) 学力検査

外国語（英語）・専門科目：200点

※外国語（英語）では全員に英和辞書を貸与します。英和辞書の代わりに、英英辞書の貸与を希望する者は、入学願書のチェック欄にチェックしてください。

2) 面接：100点

人間性と創造性の豊かな医療人及び研究者としての適性をみるために行い、一般的な態度、思考の柔軟性、発言内容の論理性等を評価します。

(2) 社会人特別選抜

1) 学力検査

外国語（英語）・専門科目：150点

※外国語（英語）では全員に英和辞書を貸与します。英和辞書の代わりに、英英辞書の貸与を希望する者は、入学願書のチェック欄にチェックしてください。

2) 面接：100点

人間性と創造性の豊かな医療人及び研究者としての適性をみるために行い、一般的な態度、思考の柔軟性、発言内容の論理性等を評価します。

8. 受験に際しての注意事項

- (1) 試験に関する注意事項（受験者心得等）を受験票と共に試験日の一週間前までに郵送します。
また、試験前日[8月26日（木）]13時より、保健学専攻正面玄関前に掲示します。
- (2) 試験当日は、指定された座席に試験開始15分前に着席してください。
- (3) 受験に際しては受験票を必ず持参してください。なお、受験票は入学に関する諸手続にも必要なので、紛失しないよう大切に保管しておいてください。
- (4) 受験のための宿泊施設等の斡旋はしません。
- (5) 自家用自動車及びオートバイ（原動機付自転車を含む）での大学構内への入構はできません。
- (6) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入試日程や試験内容に変更が生じる可能性があります。その場合は、本研究科ウェブサイト事前に掲載しますので、適宜確認をしてください。

9. 合格者発表

2021年9月10日（金）13時30分

医学系研究科保健学専攻ウェブサイト合格者の受験番号を掲載するとともに、合格通知書を出願時に提出された「発送票」の住所へ簡易書留郵便で送付します。電話等による可否の問い合わせには一切応じません。（不合格者への通知は行いません。）

なお、入学手続きについては、2022年1月中旬に保健学科ホームページにて通知します。

10. 個人情報の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。なお、合格者については、入学後に履修可能なプログラムの案内を行うために利用することがあります。また、入学者については、「教務関係（学籍管理、修学指導等）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」、「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係（奨学金申請等）」のために利用します。なお、合格者については、「入学後に履修可能なプログラムの履修者選抜」に利用することがあります。
- (3) 前記の（1）及び（2）の業務を行うに当たり、一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出された個人情報の全部または一部を提供します。

11. 入学料及び授業料

- 1) 入学料・・・282,000円
- 2) 授業料・・・年額535,800円〔半期267,900円〕

※入学料、授業料の金額については、変更することがあります。

在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

12. 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻入学試験会場案内

○利用交通機関

[バス] 阪急バス 千里中央発「阪大本部前行」又は「茨木美穂ヶ丘行」

近鉄バス 阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(JR 茨木駅経由)

いずれも阪大本部前下車、徒歩約 5 分

[モノレール] 大阪モノレール 阪大病院前駅下車(西へ徒歩約 15 分)

[電 車] 阪急電車千里線 北千里駅下車(東へ徒歩約 25 分)

○キャンパスマップ



医学系研究科

保健学専攻試験会場

【問い合わせ先】

大阪大学大学院医学系研究科 教務係

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番7号

電話： 06-6879-2512

E-mail : i-hoken-kyomu@office.osaka-u.ac.jp

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程概要

1. 保健学専攻アドミッション・ポリシー

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、専門分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、保健学専攻博士前期課程では、これからの日本、そして世界における保健・医療・福祉のさまざまな課題を、リサーチマインドをもって探求、解決に努力する、臨床実践者、臨床科学技術者、研究者、教育者を目指す人を求めています。医学分野だけでなく多様なバックグラウンドをもつ学生が共に学ぶことにより、画期的な発想が生まれ、高い専門性と豊かな人間性が培えると考えます。医療専門職としてチーム医療や地域医療でリーダーシップをとることができる人材や、保健医療科学の研究者として研究開発を行う人材には、広い視野と柔軟な理解力が必要であり、基本的な英語力は必須です。急速に高齢化が進むわが国で、人々の健康の増進に貢献したいという情熱のある人、新たな技術の開発に向けた研究を行う気概のある人を求めています。

博士後期課程では、保健医療科学の分野で、グローバルな知識を持ち、国際的なリーダーシップを発揮できる研究者の育成を目的としています。そのためには、豊かな語学力とともに、新たな分野を萌芽的な段階の研究から切り開いていく能力、自らの専門分野にとどまらず他領域との融合による新たな展開を図る能力など、高度のデザイン力が必要とされます。また、保健・医療・福祉の研究では高い倫理観を持つことも大切です。医療界のみならず産業界からも期待され、将来の保健医療福祉分野において国際的な貢献を目指す、多角的な視野を持つ人を求めています。

2. 専攻の概要

- 保健学専攻博士前期課程は、医学部保健学科を基礎とし、統合保健看護科学研究プログラム、医療画像技術科学研究プログラム、医療検査技術科学研究プログラム及びがん専門医療人材養成プログラム（4コース）、ナースプラクティショナー教育プログラムの8つの教育課程からなる学位プログラムがあります。
- 学際的な環境の中で保健学の理論に基づき、次のような資質を持つ、優れた人材を養成します。
 - ・保健学／看護科学の開拓と進展に広く貢献し寄与する看護教育・研究者
 - ・高度看護実践能力を有する指導者
 - ・卓越した専門的能力をもつ看護実践者、ならびに専門看護領域における開発的役割のとれる者
 - ・保健医療福祉行政において企画・調整・統括的能力を有する者
 - ・保健学／看護科学と工学の融合領域の教育・研究者
 - ・生命科学及び医学の幅広い知識を基礎とし、先端的物理工学手法を用いての生命現象の解明と、物理工学手法の臨床医学への応用を目指す教育・研究者
 - ・放射線、超音波、磁気、光などの物理的エネルギーを用いた高度先進技術を現場で駆使するリーダー
 - ・新しい物理工学的原理、情報理論に基づく診断・治療機器やシステムの開発に携わる医療技術科学者
 - ・医学や生命科学の最先端の知識や技術を修得し、それに基づき医療現場で検査技術の改良や考案を行う能力を持った臨床検査技師
 - ・深い科学知識に基づいて、将来、企業などで新しい検査技術や検査機器を開発できる医療技

術科学者

- ・高度な生命科学的知識及び方法論を修得し、将来、大学などで検査技術科学の教育及び創造的な研究を行う教育・研究者
- ・様々な分野の学士の上に、がんゲノム、遺伝難病を含む様々な遺伝疾患に対する遺伝カウンセリングの基礎的な知識、考え方を身につけて認定遺伝カウンセラーの受験資格獲得

3. 教育課程

(1) 特色

○本専攻は保健学領域の教育・研究者、高度看護実践指導者、高度先進技術を臨床現場で駆使する組織リーダー、医療技術科学者の養成を目指しており、教育課程は学生がそれぞれの学位プログラムで研究に必要な理論と技術の修得、実践に必要な高度の基礎的能力を育成できるよう構成しています。

○授業科目は、高度国際性涵養教育科目、高度教養教育科目及び専門科目からなります。

・専門科目は、21世紀の保健医療人としていずれの職種も医療現場、教育・研究で共通の視点、基盤が必要とされることから、人間と医療との関係、人間と環境との関係、人間と微生物との関係、人間の発展段階などについての考え方、情報科学等情報分析に関する研究法、ヒトの生きるメカニズム、臨床検査値からの疾病分析、薬物投与のあり方、国際的疾患などに関する授業科目を開設しています。

・学生は、学位プログラム及び履修コースで規定された履修方法に基づき、指導教員との相談のうえ授業科目を履修します。

○大阪大学の他研究科、学部の科目も履修できます。また、ME Iセンター（国際医工情報センター）、COデザインセンターの授業科目も履修可能です。

○希望者はがん医療に関わる専門職を養成する教育コース（がん専門医療人材養成プログラム）を履修できます。このコースは我が国のがん医療の状況を改善するため平成18年度に制定された「がん対策基本法」第14条に定められている「がん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医療従事者の養成を図るために必要な施策」の文部科学省の教育プログラムとして平成19年度からスタートしました。平成29年度からは「多様な新ニーズに対応するがん専門医療人材（がんプロフェッショナル）養成プラン」として継続しています。保健学専攻ではがん看護専門看護師、細胞検査士、放射線技術系学科（Ⅰ）・理工系学部（Ⅱ）出身者対象に医学物理士をめざすコースがあります。また、医療人又は研究者として、がんゲノム医療やがんゲノム研究に携わることの出来るエキスパートを育成するコース（分子ゲノムコース）を2019年度から開講しています。入学後、がんプロコース志望の大学院生は他の学生と別のカリキュラムを受講してもらいます。医学物理士コースは入学後のコース選択となります。がんプロコース以外の大学院生が一部の講義を履修することは可能ですし、高度副プログラムとして他研究科の大学院生が履修できるようにもなっています。詳細は「ゲノム世代高度がん専門医療人の養成」ホームページ<http://www.osaka-ganpro.jp/>を参照して下さい。

※がんプロコースを志望する学生は、出願に先立ち、以下の担当教授に必ず問い合わせてください。

がん看護専門看護師 荒尾晴恵教授 mail: h-arao@sahs.med.osaka-u.ac.jp

医学物理士 小泉雅彦教授 mail: koizumi@sahs.med.osaka-u.ac.jp

細胞検査士、分子ゲノムコース 山本浩文教授 mail: hyamamoto@sahs.med.osaka-u.ac.jp

○ナースプラクティショナー教育プログラムを志望する学生は、出願に先立ち、以下の担当教授に必ず問い合わせてください。

ナースプラクティショナー教育プログラム 清水安子教授 mail: shimizuy@sahs.med.osaka-u.ac.jp

○研究指導は、指導教員のほか、必要に応じて副指導教員とで行います。指導教員は、学生の理解度、進度などを学期ごとにチェックし、指導します。

(2) 修了の要件

- 本課程に2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。
- また、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士課程委員会が特に認めた場合に限り、本課程に1年以上在学すれば足りるものとします。
- 保健師教育コース・助産師教育コースの修了要件は58単位（上記30単位＋保健師と助産師の履修コース科目28単位）です。
- 遺伝カウンセリングコースの修了要件は54単位（上記30単位＋遺伝カウンセリングコースの科目24単位）です。
- ナースプラクティショナー教育プログラムの修了要件は55単位（当プログラムの必修科目47単位＋選択必修科目8単位）です。

(3) 学位

本課程を修了した者には、学位規則（昭和28年文部省令第9号）の定めるところにより、修士（保健学）または修士（看護学）の学位を授与します。

4. 博士課程教育リーディングプログラムについて

大阪大学には、博士課程教育リーディングプログラムと呼ばれる大学院プログラムがあります。このプログラムでは、研究科における従来の教育・研究活動に加えて、広く社会とのかかわりのなかで展開するコースワークによって、俯瞰力と、社会に生きる独創性を身につけることにより、国際的に、広く社会で活躍するリーダーとなる人材育成を目指しています。

医学系研究科保健学専攻博士前期課程の合格者は、下記の博士課程教育リーディングプログラムに応募することができます。詳細は各プログラムのホームページを参照してください。

プログラム名 等		対象となる研究科・専攻等	HP URL 等
超域イノベーション博士課程プログラム	Basic コース・本履修生	文学研究科（文化形態論専攻、文化表現論専攻）、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科（医学専攻、保健学専攻）、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、言語文化研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科、生命機能研究科	http://www.cbi.osaka-u.ac.jp 本プログラムは1年半のBasicコースとそれに続く3年間（4年制博士課程の場合は2年間）のAdvancedコースから編成されています。Basicコースの履修は1年次の10月からになります。本履修生はAdvancedコースの履修を前提としてBasicコースを履修します。準履修生は、条件を満たせば、Advancedコースに出願することができます。
	Basic コース・準履修生	文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、言語文化研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科、生命機能研究科	

5. 卓越大学院プログラム「生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養」について

生命医科学の最高到達点は、ヒトの生命活動を解明することにあります。そのためには、卓抜した基礎研究成果を、厳格な倫理観のもとで社会実装し、豊かな社会を創造するとともに、そこで生じた新たな研究課題をアカデミアに戻し、その解決のためにさらに研究を進めるという研究開発エコシステムを円滑に循環させる必要があります。このため、卓抜した研究成果をあげるとともに生命医科学を俯瞰できる「研究実践力」と、その成果を社会応用する「社会実装力」の両者を兼ね備

えた博士人材を育成せねばなりません。

日本のアカデミアにおける新規ライセンス件数は米国の約 40%に達しています。一方、ライセンス収入は米国の 1%程度という現状です。このことは研究成果を社会実装しきれていないこと、研究開発エコシステムを十分機能させていないことを示しています。

このことから、我が国において生命医科学の研究成果を社会実装する人材の育成が急務です。従来のように視野の狭い研究のみにとどまっていたのでは発展は望めません。いわんや、ヒトの生命活動の解明などは及びもつきません。しかし、社会実装のノウハウを鍛えただけの人材では研究の目利きができないため、研究成果の独創性、優位性を目利きする能力をもつ人材が社会実装力を身につけることが必要です。本当の社会実装の能力は、主体的に研究成果をあげた経験のある人でないと身につけることは困難です。

本プログラムでは、アカデミア、国内外の企業、行政が一体となって、国際競争に打ち勝ち優位性のある研究成果を挙げる研究実践力と、自らの研究成果を迅速にまた効果的に社会に還元していく社会実装力の両者を兼備した人材の涵養を図ります。

本プログラムで養成する人材は、

- ・卓抜した研究成果をあげるとともに生命医科学を俯瞰できる「研究実践力」と、その研究成果を社会応用する「社会実装力」を兼備した博士人材
- ・研究成果の優位性、発展性を学術的に的確に分析し、その成果が有する社会実装ポテンシャルを知財、市場性、規制科学など様々な角度から分析し社会実装を推進することにより、研究開発エコシステムをまわすことのできる卓越人材です。俯瞰力の養成のため、大阪大学独自の文理融合教育も実施します。

履修方法

各専攻の教育のための授業科目と本プログラム固有の授業科目を組み合わせた独自のカリキュラムを履修します。必要単位数の負担は通常のカリキュラムとほぼ同じです。

以下の研究科（専攻）の 2022 年度入学予定者に対し、プログラム独自の選考を行います。プログラムの選考に合格した場合は履修が許可されます。

・博士課程（4 年制）

医学系研究科医学専攻

歯学研究科

薬学研究科医療薬学専攻

・博士課程（5 年一貫制）

生命機能研究科

・博士前期課程（前期課程・後期課程の 5 年コース）

医学系研究科保健学専攻

薬学研究科創成薬学専攻

※問い合わせ先

大阪大学 医学系研究科卓越大学院プログラム事務担当

E-mail : takuetsu@office.med.osaka-u.ac.jp

<http://www2.med.osaka-u.ac.jp/bei/>

別表. 指導教員の研究領域・願書記載時略称一覧(博士前期課程)

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP
研究室・部門 のページをご覧ください。

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

統合保健看護科学研究プログラム

研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容
看護実践開発科学 1 [周手術期管理学研究室]	看1	上野 高 義	手術前から術後までのQOL向上に結び付く 新たな看護管理スキルの創出
看護実践開発科学 2 [急性期・緩和ケア学研究室]	看2	荒尾 晴 恵	がん看護、緩和ケア、症状マネジメント、 End-of-Life Care、がんサバイバー支援
看護実践開発科学 3 [慢性疾患看護学研究室]	看3	清水 安 子	慢性疾患患者のセルフケア支援や 看護システムに関する研究
看護実践開発科学 4 [老年看護学研究室]	看4	竹屋 泰	老年医学、老年看護学、医看連携、ICTを用いた 多職種連携の中での看護師の役割
看護実践開発科学 5 [老年看護学研究室]	看5	山川 み や え	高齢者に関するビッグデータ、及び ICTデータの解析
看護実践開発科学 6 [精神保健看護学研究室]	看6	武用 百 子	精神的諸問題を持つ患者へのセルフケア支援、 惨事ストレス、援助者の共感疲労
生命育成看護科学 1 [成育小児科学研究室]	生1	酒井 規 夫	先天代謝異常症に対する治療法の開発 先天異常に対する疫学研究
生命育成看護科学 2 [小児・家族看護学研究室]	生2	山崎 あ け み	小児看護に関する研究、およびファミリー インタビュー・dyadic dataによる研究
生命育成看護科学 3 [母性胎児科学研究室] [再生誘導医学協働研究所]	生3	遠藤 誠 之	再生誘導医学の臨床応用と基礎的研究 子育てをしやすい社会を医療・文化・社会の視 から超域的に研究する
生命育成看護科学 4 [助産学・リプロダクティブヘルス研究室]	生4	松崎 政 代	母乳育児の支援方法や母児・女性に最適な 生活習慣の解明
生命育成看護科学 5 [ウィメンズヘルス科学研究室]	生5	渡邊 浩 子	妊孕世代の女性の健康支援、育児支援、 次世代の健康確保に関する研究
生命育成看護科学 6 [助産学・リプロダクティブヘルス研究室]	生6	白石 三 恵	妊娠期の栄養アセスメントに関する研究 周産期の生活習慣・ストレスに関する研究
総合ヘルスプロモーション科学 1 [公衆衛生看護学研究室]	総1	岡本 玲 子	公衆衛生看護の技術開発と普及・評価 根拠に基づく保健事業・政策の実装科学
総合ヘルスプロモーション科学 2 [ヘルスプロモーション・システム科学研究室]	総2	神出 計	健康長寿の要因の探求、生活習慣病の予防・ 治療、在宅要介護高齢者のケアシステム
総合ヘルスプロモーション科学 3 [地域ヘルスケアシステム科学研究室]	総3	小西 か お る	地域在宅看護学領域におけるヘルスケア システムの構築に関する研究

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP
研究室・部門 のページをご覧ください。

URL: <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

統合保健看護科学研究プログラム

研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容
総合ヘルスプロモーション科学4 [看護管理学研究室]	総4	井上 智子	看護の質に係る技術・教育・現状分析
総合ヘルスプロモーション科学5 [包括看護科学研究室]	総5	榎山 舞	生活習慣病の予防、健康に関わる社会要因の検討 多機関・多職種連携の推進
総合ヘルスプロモーション科学6 [公衆衛生看護学研究室]	総6	蔭山 正子 [高等共創研究院]	精神障がい者の家族支援や恋愛・結婚・育児支援 精神保健、母子保健、保健師の支援技術 ※保健師教育コース希望者も対応可。 出願方法は面談時に指示する。
総合ヘルスプロモーション科学7 [ヘルスケア・システム工学研究室]	総7	内海 桃絵	感染管理に関する研究。情報技術を活用した 看護ケアの開発。看護教育に関する研究。
総合ヘルスプロモーション科学8 [公衆衛生看護学研究室]	総8	小出 恵子	保健活動の評価、公衆衛生看護技術の明確化 働く世代の健康生活習慣の支援
保健師教育コース1 [公衆衛生看護学研究室]	保1	岡本 玲子	公衆衛生看護の技術開発と普及・評価 根拠に基づく保健事業・政策の実装科学
保健師教育コース2 [ヘルスプロモーション・システム科学研究室]	保2	神出 計	健康長寿の要因の探求、生活習慣病の予防・ 治療、在宅要介護高齢者のケアシステム
保健師教育コース3 [地域ヘルスケアシステム科学研究室]	保3	小西 かおる	地域在宅看護学領域におけるヘルスケア システムの構築に関する研究
保健師教育コース4 [公衆衛生看護学研究室]	保4	小出 恵子	保健活動の評価、公衆衛生看護技術の明確化 働く世代の健康生活習慣の支援
助産師教育コース1 [母性胎児科学研究室] [再生誘導医学協働研究所]	助1	遠藤 誠之	再生誘導医学の臨床応用と基礎的研究 子育てをしやすい社会を医療・文化・社会の 視点から超域的に研究する
助産師教育コース2 [助産学・リプロダクティブヘルス研究室]	助2	松崎 政代	母乳育児の支援方法や母児・女性に最適な 生活習慣の解明
助産師教育コース3 [ウィメンズヘルス科学研究室]	助3	渡邊 浩子	妊孕世代の女性の健康支援、育児支援、 次世代の健康確保に関する研究
助産師教育コース4 [助産学・リプロダクティブヘルス研究室]	助4	白石 三恵	妊娠期の栄養アセスメントに関する研究 周産期の生活習慣・ストレスに関する研究

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP
研究室・部門 のページをご覧ください。

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

統合保健看護科学研究プログラム

研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容
遺伝カウンセリングコース1 [成育小児科学研究室]	遺1	酒井規夫	認定遺伝カウンセラー養成と臨床遺伝学的研究
遺伝カウンセリングコース2 [母性胎児科学研究室]	遺2	遠藤誠之	認定遺伝カウンセラー養成と臨床遺伝学的研究
連携分野	先進医療・臨床試験科学 ＜連絡教員：渡邊幹夫＞	看7 調整中 【国立循環器病研究センター】	新規医療技術の評価方法としての臨床研究の立案、実施等に関する理論と技術を学ぶ
	移植コーディネーター学 ＜連絡教員：上野高義＞	看8 福嶋教偉 【国立循環器病研究センター】	移植コーディネーターに必要な臓器移植の基本的知識、技術を探求する
	がん統計・インフォマティクス ＜連絡教員：三善英知＞	看9 片野田耕太 【国立がん研究センター】	がん統計情報の総合的な解析 がん対策の系統的かつ科学的評価

がん専門医療人材養成プログラム 高度がん看護専門看護師コース

研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容
高度がん看護専門看護師コース [がん看護学研究室]	がん	荒尾晴恵	がん看護、緩和ケア、症状マネジメント、ゲノム医療と看護、がんサバイバー支援

ナースプラクティショナー教育プログラム

研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容
ナースプラクティショナー教育プログラム [慢性疾患看護学研究室]	NP1	清水安子	慢性疾患患者のセルフケア支援や看護システムに関する研究
ナースプラクティショナー教育プログラム [老年看護学研究室]	NP2	竹屋泰	老年医学、老年看護学、医看連携 ICTを用いた多職種連携の中での看護師の役割
ナースプラクティショナー教育プログラム [周手術期管理学研究室]	NP3	上野高義	手術前から術後までのQOL向上に結び付く 新たな看護管理スキルの創出
ナースプラクティショナー教育プログラム [精神保健看護学研究室]	NP4	武用百子	精神的諸問題を持つ患者へのセルフケア支援、 精神看護の支援技術、惨事ストレス、支援者の共感疲労

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP
研究室・部門 のページをご覧ください。

URL: <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

医療画像技術科学プログラム

研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容	
●機能画像クラスター				
医療画像技術科学 1 [分子イメージング学研究室]	放1	福地 一 樹	核医学、分子イメージングによる生体機能計測、 画像化技術に関する研究	
医療画像技術科学 2 [生体機能イメージング研究室]	放2	小山内 実	脳・神経系機能解明のためのマルチスケール・ マルチモーダルイメージング	
●放射線治療クラスター				
医療画像技術科学 3 [医学物理学研究室]	放3	西尾 禎 治	粒子線治療に関する医学物理学研究 線量計測システム・検証ソフトウェアの研究開発	
医療画像技術科学 4 [放射線情報学研究室]	放4	沼崎 穂 高	全国的な放射線治療情報の収集と分析 医用画像処理と画質評価に関する研究	
医療画像技術科学 5 [放射線腫瘍学研究室]	放5	小泉 雅 彦	がんの放射線治療の基礎の放射線腫瘍生物学	
●画像解析クラスター				
医療画像技術科学 6 [画像定量解析学研究室]	放6	田 中 壽	中枢神経系・筋肉のMRIの撮影方法の研究、 生理的機能の解明、臨床応用	
医療画像技術科学 7 [医用光学研究室]	放7	近 江 雅 人	光断層イメージング(OCT)の開発と表皮下 生理機能解析・皮膚科分野への応用研究	
医療画像技術科学 8 [先端画像技術学研究室]	放8	齋 藤 茂 芳	前臨床超高磁場MRIを用いた疾患モデル研究・ 先端MRI撮影技術の開発	
●画像情報クラスター				
医療画像技術科学 9 [病態超音波医学研究室]	放9	鎌 田 佳 宏	超音波検査を用いた消化器疾患の研究 消化器疾患の基礎・臨床研究	
医療画像技術科学 10 [医用磁気共鳴学研究室]	放10	木 村 敦 臣	MRIの高感度化、および難治性肺疾患の 肺機能診断法の開発	
医療画像技術科学 11 [画像科学技術研究室]	放11	石 田 隆 行	人工知能(AI)・高度画像処理の医療応用	
連 携 分 野	医療画像技術科学 12 (分子イメージング学) <連絡教員:福地 一樹>	放12	調 整 中 【国立循環器病研究センター】	
	医療画像技術科学 13 (粒子線治療学) <連絡教員:小泉 雅彦>	放13	沖 本 智 昭 赤 城 卓 【兵庫県立粒子線医療センター】	粒子線治療の臨床研究 治療装置の運用効率化に関する物理工学研究
	医療画像技術科学 14 (粒子線治療学) <連絡教員:西尾 禎治>	放14	金 井 達 明 【大阪重粒子線センター】	粒子線(炭素イオン)治療の物理工学、及び、 生物物理工学研究
	医療画像技術科学 15 (臨床放射線治療物理学) <連絡教員:小泉 雅彦>	放15	小 西 浩 司 【大阪国際がんセンター】	強度変調放射線治療法の開発・二重エネルギー CTの治療応用などに関する臨床研究

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP
研究室・部門 のページをご覧ください。

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

医療検査技術科学プログラム

研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容
医療検査技術科学 1 [心血管代謝学研究室]	検1	木原進士	心筋梗塞や脳梗塞の予防につながる新たな診断法の開発をめざした動脈硬化の研究
医療検査技術科学 2 [臨床神経生理学研究室]	検2	高橋正紀	中枢神経・骨格筋の生理・病態・臨床研究、イオンチャネルの生物物理学的研究
医療検査技術科学 3 [分子病原微生物学研究室]	検3	戸邊亨	病原性大腸菌の感染機構と病原性獲得の分子レベルでの解析
医療検査技術科学 4 [分子生化学研究室]	検4	三善英知	疾患関連糖鎖の機能解析 糖鎖バイオマーカーの開発
医療検査技術科学 5 [再生発生医学研究室]	検5	辻川元一	眼の再生医療の開発と発生の研究 眼科疾患の病態の遺伝学的検討
医療検査技術科学 6 [免疫造血制御学研究室]	検6	尾路祐介	白血病や固形癌におけるWT1遺伝子研究に基づく癌免疫治療および分子標的治療の開発
医療検査技術科学 7 [分子病理学教室]	検7	山本浩文	分子生物学的な手法を用いて癌に対する診断・治療に関する研究
医療検査技術科学 8 [予防診断学研究室]	検8	渡邊幹夫	ゲノム・エピゲノム情報を応用した病態寄与因子の解明と臨床検査への応用
医療検査技術科学 9 [心血管代謝学研究室]	検9	山本浩靖	心筋梗塞や脳梗塞の予防につながる新たな診断法の開発をめざした動脈硬化の研究
医療検査技術科学 10 [分子生化学研究室]	検10	近藤純平	患者検体からの癌オルガノイド培養 症例間多様性に着目した次世代型癌治療法の開発
医療検査技術科学 11 [臨床神経生理学研究室]	検11	久保田智哉	チャネル蛋白の構造と機能に注目した神経筋チャネル病の病態研究
医療検査技術科学 12 [再生発生学研究室]	検12	佐藤茂	遺伝性網膜変性症の診断・病態解明 網膜の発生、機能にかかわる分子機構の解明
遺伝カウンセリングコース 3 [臨床神経生理学研究室]	遺3	高橋正紀	遺伝性神経筋疾患を中心とした臨床ゲノム研究
遺伝カウンセリングコース 4 [再生発生医学研究室]	遺4	辻川元一	人類遺伝学

研究テーマ・連絡先は、大阪大学医学系研究科保健学専攻HP
研究室・部門 のページをご覧ください。

URL : <https://sahswww.med.osaka-u.ac.jp/jpn/departments/>

医療検査技術科学プログラム

	研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容
連 携 分 野	医療検査技術科学13 (血栓症診断学) <連絡教員:渡邊幹夫>	検13	小 亀 浩 市 山 崎 泰 男 【国立循環器病研究センター】	血液凝固異常症に関する基礎研究と新たな 診断・治療・予防法の開発に向けた応用研究
	医療検査技術科学14 (睡眠医学) <連絡教員:高橋正紀>	検14	立 花 直 子 【関西電力医学研究所】	睡眠関連疾患に対する睡眠・覚醒モニタリングの 研究
	先進医療・臨床試験科学 <連絡教員:渡邊幹夫>	検15	調 整 中 【国立循環器病研究センター】	新規医療技術の評価方法としての臨床研究の 立案、実施等に関する理論と技術を学ぶ
	がん統計・インフォマティクス <連絡教員:三善英知>	検16	片 野 田 耕 太 【国立がん研究センター】	がん統計情報の総合的な解析 がん対策の系統的かつ科学的評価

がん専門医療人材養成プログラム ゲノム世代細胞検査高度診断コース

	研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容
	医療検査技術科学17 (ゲノム世代細胞検査高度診断コース)	検17	山 本 浩 文 南 雲 サ チ 子	癌の早期診断のための細胞診断学、 分子生物学に関する研究

がん専門医療人材養成プログラム 分子ゲノムコース

	研究領域 [研究室名]	研究領域 (願書記載時)	氏名	研究内容
	医療検査技術科学18 (分子ゲノムコース) [分子病理学研究室]	検18	山 本 浩 文	癌のゲノム、エピゲノムに関する研究

※「調整中」の領域については、指導教員不在のため記載できません。